



# 破壊的変化の時代に、サプライチェーンにおける最速の価値実現を実現

いまサプライチェーンは、かつてないほどの試練に直面しています。進化する消費者の要求、激動の地政学的環境、労働力不足、運用コストの増大。これらはサプライチェーンの相互依存関係の複雑さと脆さを增幅させ、その結果イノベーションの進展にも影響を及ぼしています。

インターリンクスが行った調査では、サプライチェーンのリーダーのうち5人に4人（80%）は、イノベーションが組織の存続に不可欠であると考えており、半数以上（59%）は、消費者のニーズに対応することが改革の主な推進力となっていると回答しました。

しかしサプライチェーンのリーダーがイノベーションを加速する必要性を認識し、積極的に改革に取り組む一方で、調査では、こうした取り組みが複数の課題によって遅れをとっていることも明らかになりました。

サプライチェーンのリーダーが考える改革の必要性は？



サプライチェーン改革のおもな原動力は？

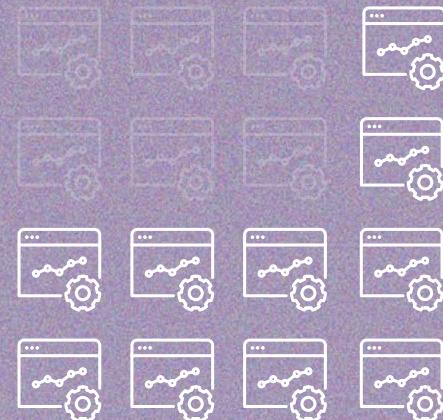
- 1 顧客ニーズに対応し続けること
- 2 ペースを維持しながら市場をリードする
- 3 俊敏性の獲得と将来への備え

# イノベーションを阻むもの— データと洞察

サプライチェーンのリーダーたちは、無数の外的インパクトとともに改革を阻む多くの内的障壁に直面しています。

特にデータの課題が大きな問題となっています。例えば市場の変動性が高まる中、より高い強靭性を求める企業において、サプライチェーンリーダーの3分の1（33%）は、従来型テクノロジーが、データ主導型イノベーションの障壁になっていると考えています。

サプライチェーン・エコシステム全体に及ぶつながったリアルタイムな洞察が手元になければ、行動に移す前に時間のかかる手作業の分析に頼らざるを得ません。調査結果では、65%が、データを必要なフォーマットでタイムリーに入手することや、異種のデータソースを統合するのに苦労しています。



**65% のサプライチェーンリーダーは、データを必要なフォーマットでタイムリーに入手することや、異種のデータソースを統合するのに苦労しています。**



さらに4分の1近く（23%）が、統合が不完全でサイロ化が進んだサプライチェーン・アプリケーションを使用しており、エンド・ツー・エンドの可視化を妨げられています。これは、新しいテクノロジーを最初に導入する際や、新しい「即効性のある」ソリューションを導入する際に、相互運用性を十分に考慮していないことが原因です。

このような課題を克服し、弾力的で俊敏性の高いサプライチェーンを構築するために、組織はエンド・ツー・エンドでリアルタイムの可視性を獲得し、それによって提供される洞察に基づいて適切な技術ツールの導入を優先する必要があります。

**約4分の1が、不完全な統合とアプリケーションのサイロ化によって、エンド・ツー・エンドの可視化が妨げられています。**

パンデミック後の労働力不足と数十年ぶりの低い生産性が、この問題に追い打ちをかけていることは明らかです。またサプライチェーンリーダーの半数強（51%）が、データを理解し分析するためのスキルの欠如も、困難の1つとして挙げています。



## 新たなデータ接続の方法

サプライチェーンの成功がデータに帰結するのであれば、適切なサプライチェーン・オーケストレーション・ソリューションの導入が鍵となります。リアルタイムの実用的な洞察が得られ、合理化されたエンド・ツー・エンドのプロセスを構築してオペレーションのギャップをなくし、企業全体とグローバルなエコシステム全体で混乱と制約を管理することができます。これはTime-to-Value（価値実現までの時間）の短縮につながります。

これを確実に達成するため、スマートデータファブリック(結合組織と呼ばれることがある)は、組織全体のデータ資産へのアクセスを高速化・簡素化する新しいアーキテクチャ・アプローチであると言えます。

複数ソースからのデータにオンデマンドでアクセスし、変換し、調和させることで、データは様々なビジネスアプリケーションにおいて利用可能で実用的なものになります。

事業部門は、健全なデータを活用して意思決定を改善し、将来の混乱にも、よりよく対応し、変化する顧客の要求に応えることができます。さらに結合組織によって、需要の感知と予測を大幅に改善することができます。

AIとMLを活用した分析機能が組み込まれているため、企業は短期的トレンドを、ほぼリアルタイムで検知することができます。

サプライチェーンは、実用的な洞察をより迅速かつ容易に得ることができます。インテリジェントな予測的・処方的サービスとアプリケーションを強化することができます。処方的洞察は、卓越した注文処理や顧客体験を創出し、注文の変更、サプライヤーの供給能力の問題、競争優位のための需要急増に対応するためには不可欠です。

結合組織テクノロジーを採用することで、サプライチェーンの意思決定までの時間を短縮し、何の準備もなく変革の取り組みを進めるために必要な洞察を得て、サプライチェーンを強化します。

これはオンプレミス、ハイブリッド・クラウド、マルチクラウドのいずれにおいても、既にあるものを置き換える必要のない、適切なサプライチェーンデータ管理ソリューションによってのみ実現します。既存の環境を補完し、柔軟な導入の選択肢を提供することで、企業はインテリジェントな行動を開始することができます。



### 一貫性のあるデータ

#### マルチモデルDBMS

一貫性のある正確なデータ表現のために、リレーションナル、非リレーションナル、ストリーミングなど、異なるソースやフォーマットを調和させ、正規化。



### リアルタイムデータと分析

#### マルチワークロードDBMS

分析用データを移動やコピーすることなく、リアルタイムでデータを取り込み、遅延なく処理し、分析。



### インテリジェントプロセス 相互運用性

シームレスで正確かつ接続されたサプライチェーン・オーケストレーションと、AI対応のインテリジェントなビジネスプロセスを実現。



### 実行可能な洞察 高度な分析

BI、ML、AI、NLPによるリアルタイムの高度な分析で、記述的、予測的、処方的な洞察を瞬時に得ることができます。

# 破壊的変化の時代を生き抜く

混乱が続く中でも、サプライチェーンのリーダー達は改革に全力を注いでいます。イノベーションへの取り組みを加速させることでしか、変化し続ける消費者の需要に対応できることを理解しているからです。さらにサプライチェーンを次世代型のオーケストレーションと俊敏性の向上で競争優位にする上で、データ関連技術の役割が極めて重要であると認識するようになっています。結合のためのプラットフォームのような、サプライチェーン・オーケストレーション・テクノロジーを備えることで、サプライチェーン企業は、イノベーション・イニシアチブを推進し、将来の破壊的変化を乗り切るだけでなく、変化の最中も、繁栄することができるようになります。

サプライチェーン改革について、今すぐご相談ください。  
既存のインフラを補完し、迅速なROIを実現する方法をご覧ください。

見て、理解して、行動する。  
InterSystems Supply Chain Orchestrator™ で、  
弾力性があり、柔軟で、透明性の  
高いサプライチェーンを実現し、  
最適化しましょう。



詳しくはこちらをご覧ください。

